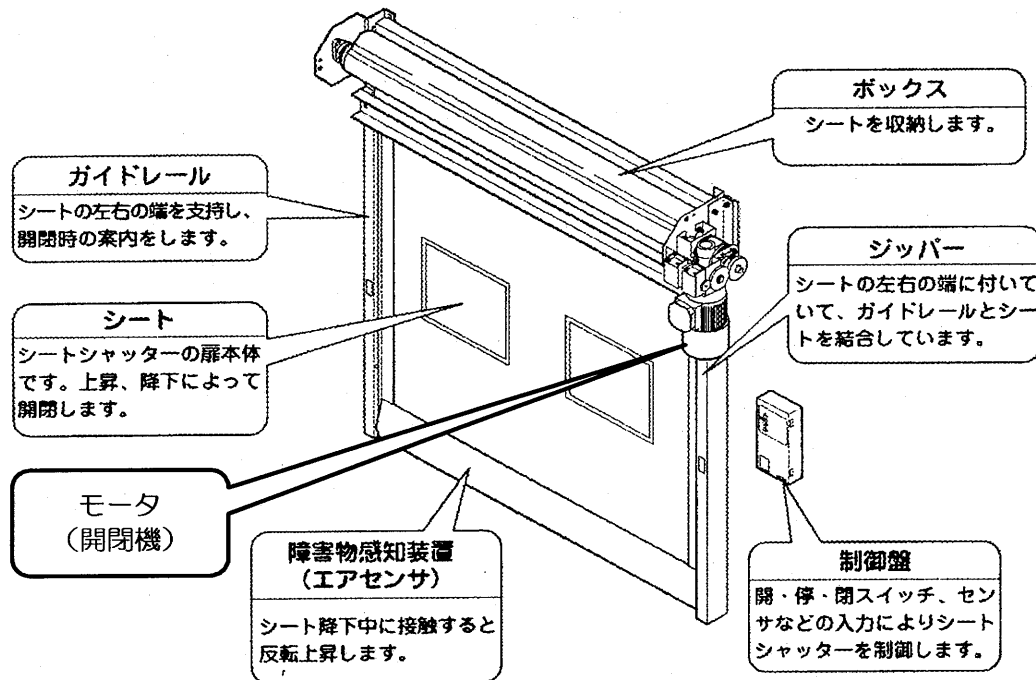


# ■高速シートシャッターの停電時の手動操作について

工場、倉庫などに使用されております高速シートシャッターにおける停電時の手動操作につきまして、まず以下の点をご確認ください。

## 【高速シートシャッターの構造および部材名称】

※高速シートシャッターの機種型式により、シート、その他の部品・部材の外観や構造が異なる場合があります。



## 警告事項

緊急時以外は手動操作を行わず、停電が復旧するのを待ってから、電動による通常操作を行ってください。大間迅クラシックタイプおよびマジックタイプ(M2, M3)の停電時の手動操作は、危険な作業になりますので文化シャッターサービスへご連絡いただき、操作を依頼してください。

(フリーダイヤル ☎ 0120-365-113)

## 【停電時にやむを得ずお客様にて手動操作を行なう場合】

やむを得ずお客様にて手動操作を行う場合には、以下の事項を必ず守り安全を十分に確保した上で、各タイプの手動操作方法に従って操作してください。

- 停電時以外は手動操作しないでください。
- 手動操作をする前に、シャッターの一次側電源(コンセントまたはブレーカ)を必ず切ってください。
- 脚立などに乗って作業する場合は、転落事故などを予防する措置をとり、十分な安全を確保した上で行ってください。
- 手動操作時は、安全確認の為、なるべく複数人で作業を行ってください。
- シャッターの開閉動作ライン周辺に人や物がないことを確認してから操作してください。また、操作中は、シャッターの開閉動作ライン周辺を人や車などが通行しないような処置をしてください。
- 作業、操作が完全に終了するまではシャッターの電源は投入しないでください。
- お客様がご自身で手動操作をする際、不明な点、不安な点がある場合は、文化シャッターサービスへご連絡いただき、操作を依頼してください。

(フリーダイヤル ☎ 0120-365-113)

停電時の手動操作方法は、高速シートシャッターの機種型式によって異なりますので、次ページの【高速シートシャッターの機種型式の特定方法】を参考に、ご使用中の機種をご確認いただき、対応する各タイプの手動操作方法をご覧ください。

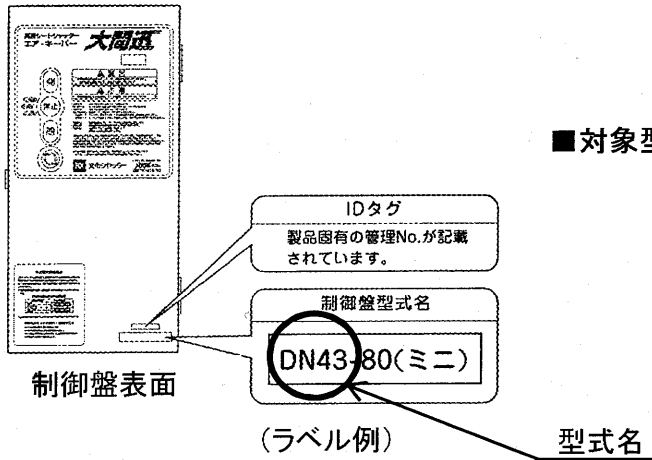
(シー1)

なお、対応する機種がない場合や不明な場合は、文化シャッターサービスへご連絡いただき、操作を依頼してください。

(フリーダイヤル  0120-365-113)

【高速シートシャッターの機種型式の特定方法】

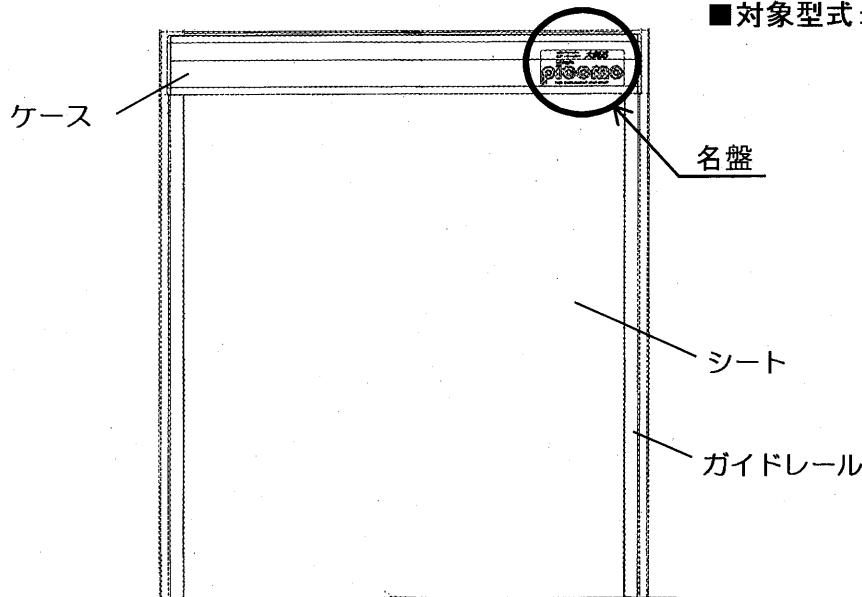
①制御盤表面にある型式名ラベルによる特定



- 対象機種: 大間迅クラシックタイプ(C)  
大間迅マジックタイプ(M2、M3、M1)  
大間迅ミニタイプ(MINI)  
大間迅ミニビードタイプ(BD)

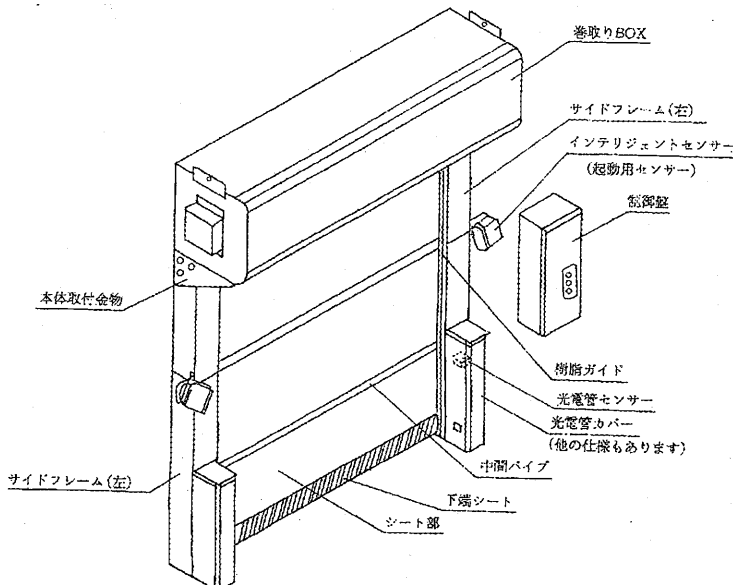
- 対象型式: DN11、DN12、DN12A、DN13、DN21、DN22、DN22A、DN23、DN31、DN43、DN63、DN73

②シャッターのケース表面にある名盤ラベルによる特定



- 対象機種: 大間迅ピコモ
- 対象型式: DN53

③シートに中間パイプが設けられていることによる特定



- 対象機種: 中間パイプ付きタイプ
- 対象型式: S型、SH型、DK型

- 【タイプ1】対象機種:大間迅クラシックタイプ(C)、大間迅マジックタイプ(M2)、大間迅マジックタイプ(M3)  
(型式:DN11、DN12、DN12A、DN13、DN21、DN22、DN22A、DN23、DN31)  
→ **【タイプ1】 手動操作方法へ**
- 【タイプ2】対象機種:大間迅ミニタイプ(MINI)、大間迅ミニビードタイプ(BD)  
(型式:DN43、DN73)  
→ **【タイプ2】 手動操作方法へ**
- 【タイプ3】対象機種:大間迅ピコモ  
(型式:DN53)  
→ **【タイプ3】 手動操作方法へ**
- 【タイプ4】対象機種:中間パイプ付きタイプ  
(型式:S型、SH型、DK型)  
→ **【タイプ4】 手動操作方法へ**

※大間迅マジックタイプ(M1)(型式:DN63)は、停電時にシートを開閉することができませんので、  
停電が復旧するのをお待ちいただくか、他の開口部から出入りしてください。

# ■高速シートシャッターの停電時の手動操作方法【タイプ1】

対象機種：大間迅クラシックタイプ(C)、大間迅マジックタイプ(M2)、大間迅マジックタイプ(M3)  
(型式：DN11、DN12、DN12A、DN13、DN21、DN22、DN22A、DN23、DN31)

## 警告

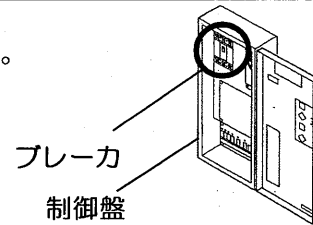
以下の手順にしたがって手動開閉操作を行ってください。手順どおりに操作しなかった場合、思わぬ事故になる場合がありますのでご注意ください。

手動ハンドルにてシャッターを手動操作する場合は、必ず制御盤のブレーカをOFFにして操作してください。また、操作にあたっては、他の人がシャッターを作動させることのないよう十分注意してください。ブレーカをONのままですと、手動ハンドルで手動操作中に、停電復旧して他の人が押しボタンなどでシャッターを作動させた場合、モータと一緒に手動ハンドルも回るため、思わぬ事故になる場合があります。

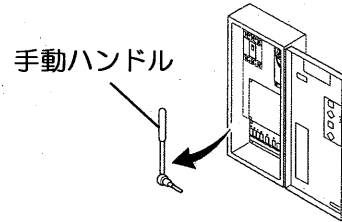
手動ハンドルはいつでも使用できるよう大切に保管してください。

高速シートシャッターの機種型式により、シート、その他の部品・部材の外観や構造が異なる場合があります。

- ① 制御盤の蓋を開け、内部にあるブレーカをOFFにします。



- ② 制御盤内部の手動ハンドルを取り外します。



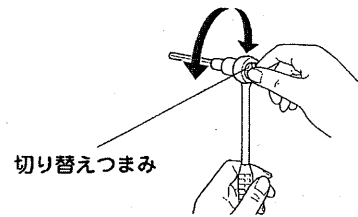
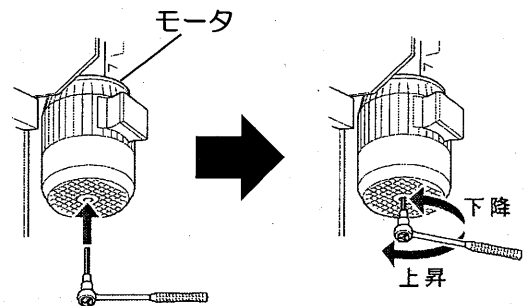
- ③ 手動ハンドルの先をモータの端部中央部に差し込んで回すとシートが動きます。右方向(時計回り)に回すとシートが上昇し、左方向(反時計回り)に回すとシートが下降します。

※右図は、縦向きモータ(対象型式：DN11、DN12、DN12A、DN13)の場合の例で、手動ハンドルの先をモータの底面側中央部に差し込みます。

横向きモータ(対象型式：DN21、DN22、DN22A、DN23、DN31)の場合は、手動ハンドルの先をモータの正面側中央部に差し込みます。

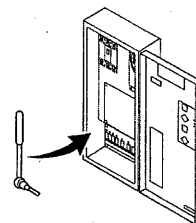
※シャッターのボックス部がケースで覆われている場合は、点検口を開けてから、内部のモータに対して操作をしてください。

※手動ハンドルを回した際に空回りする場合は、右図のように手動ハンドルの切り替えつまみを回して再度操作してください。



- ④ 制御盤内部に手動ハンドルをもどし、蓋を閉めます。

※型式：DN11、DN12の場合は、手動ハンドルを制御盤内部の所定位置へきちんとおさないと、ブレーカをONにしても、電動作動ができないようになってしまいますので、ご注意ください。



- ⑤ 停電の復旧を確認して、シャッター周囲の安全を確認後、制御盤内部のブレーカをONにします。

# ■高速シートシャッターの停電時の手動操作方法【タイプ2】

対象機種：大間迅ミニタイプ(MINI)、大間迅ミニビードタイプ(BD)  
(型式：DN43、DN73)

## 警告

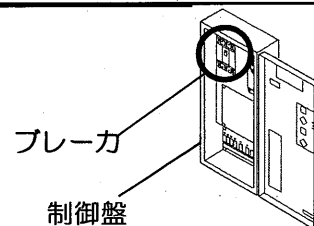
以下の手順にしたがって手動開閉操作を行ってください。手順どおりに操作しなかった場合、思わぬ事故になる場合がありますのでご注意ください。

シャッターを手動操作する場合は、必ず制御盤のブレーカをOFFにして操作してください。

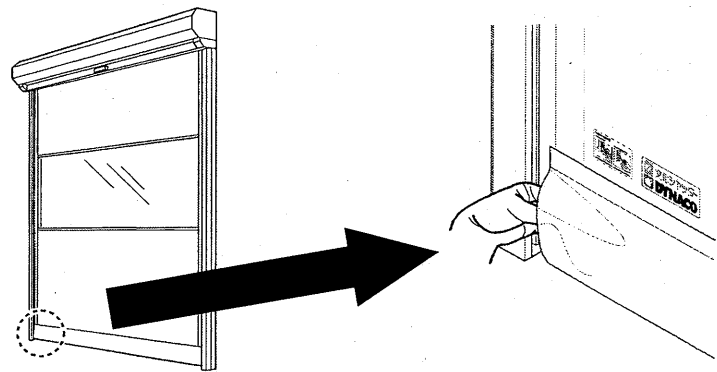
シートをガイドレールから外す場合、不用意に引っ張るとジッパーが破損するおそれがあります。

非常脱出用取っ手を使用してシートをガイドレールから外した後は、シートを元の状態に復帰させる前に、下端の袋内に完全にもどしてください。非常脱出用取っ手が完全にもどっていないと、停電復旧後、シートを電動にて作動させたときに引っかかって故障するおそれがあります。

- ① 制御盤の蓋を開け、内部にあるブレーカをOFFにします。

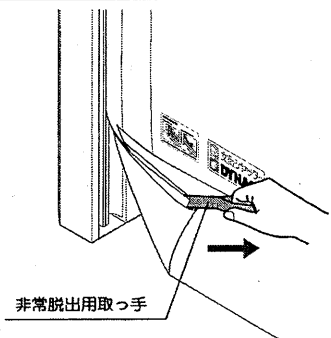


- ② 下端の袋内に取り付けてある非常脱出用取っ手を引き出します。



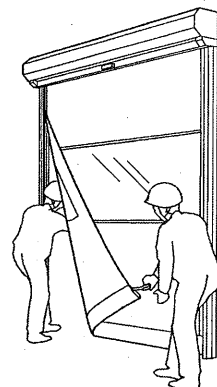
- ③ 非常脱出用取っ手をシートと平行に引っ張ることにより、シートをガイドレールから外します。

※シートをガイドレールから外す場合、不用意に引っ張るとジッパーが破損するおそれがあります。



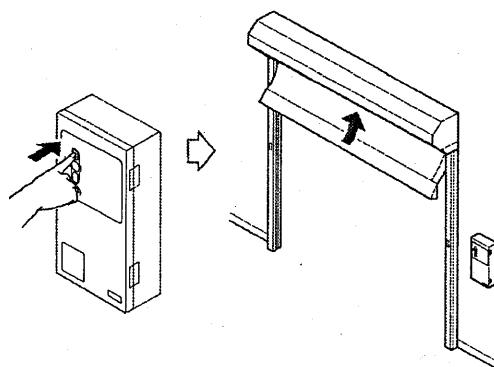
- ④ ある程度の高さまでシートを外すと、容易にくぐり抜けて、反対側に移動することができます。

※非常脱出用取っ手を使用してシートをガイドレールから外した後は、シートを元の状態に復帰させる前に、下端の袋内に完全にもどしてください。



### [シートの復帰方法について]

非常脱出用取っ手を使用してシートをガイドレールから外した後、元の状態に復帰させるには、停電復旧後に、開ボタンを押して電動にてシートを上限まで上昇させることで復帰します。




開ボタンを押す

上昇

電動にてシートを上限まで上昇させても、元の状態に復帰しない場合は、繰り返しの操作は行わず、直ちに文化シャッターサービスへご連絡いただき、対処を依頼してください。

シートが元にもどらない状態で開閉することでシャッターが故障するおそれがあります。

(フリーダイヤル  0120-365-113)

# ■高速シートシャッターの停電時の手動操作方法【タイプ3】

対象機種:大間迅ピコモ  
(型式:DN53)

## 警告

以下の手順にしたがって手動開閉操作を行ってください。手順どおりに操作しなかった場合、思わぬ事故になる場合がありますのでご注意ください。

シャッターを手動操作する場合は、必ずブレーカをOFFにして操作してください。

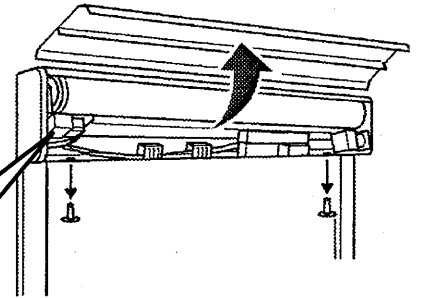
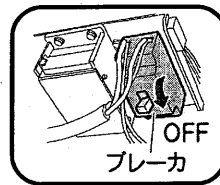
シートをガイドレールから外す際、ジッパーが破損するおそれがあります。

シートをガイドレールから外した場合、自動では元の状態へ復帰しませんので、ご注意ください。

①

前面ケースのビスを取り外し(2ヶ所)、前面ケースを手前側に持ち上げ、ケース内部のブレーカをOFFにします。

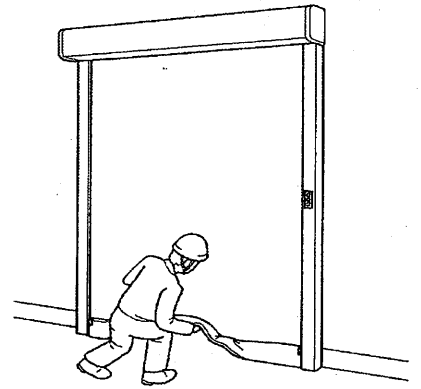
※ビスの取り外し、取り付けは電動工具等は使わず、ドライバーを用いて、必ず手回しで行なってください。



②

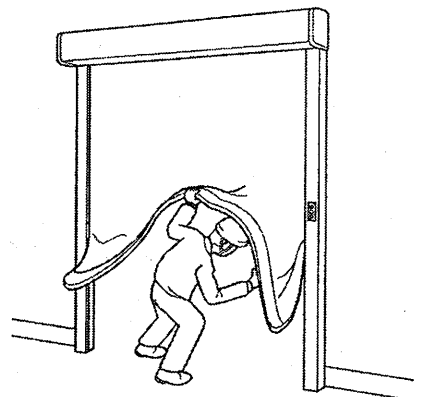
シート下端部を上を持ち上げるにより、シートをガイドレールから外します。

※シートをガイドレールから外す際、ジッパーが破損するおそれがあります。



③

ある程度の高さまでシートを外すと、容易にくぐり抜けて、反対側に移動することができます。



## [シートの復帰方法について]

シートをガイドレールから外した後、元の状態に復帰させるには、お手持ちの大間迅ピコモ取扱説明書の手順にしたがって操作してください。

なお、復帰が不可能な場合や不明な点、不安な点がある場合には、文化シャッターサービスへご連絡いただき、対処を依頼してください。  
(フリーダイヤル ☎ 0120-365-113)

# ■高速シートシャッターの停電時の手動操作方法【タイプ4】

対象機種：中間パイプ付きタイプ  
(型式：S型、SH型、DK型)

## ⚠ 警告

以下の手順にしたがって手動開閉操作を行ってください。手順どおりに操作しなかった場合、思わぬ事故になる場合がありますのでご注意ください。

シャッターを手動操作する場合は、必ずブレーカをOFFにして操作してください。

シャッターをくぐり抜けて、反対側に移動する場合、シート内にある中間パイプなどに頭などをぶつけないように注意してください。

シャッターのシート内にある中間パイプの右側または左側を持ち上げた際に、中間パイプごとシートがガイドレールから外れた場合は、ガイドレールにもどして元の状態してください。

① シャッターのブレーカをOFFにします。

② シャッターのシート内にある中間パイプの右側または左側を持ち上げることにより、容易にくぐり抜けて、反対側に移動することができます。

※シャッターをくぐり抜けて、反対側に移動する場合、シート内にある中間パイプなどに頭などをぶつけないように注意してください。

